

「エネルギー・機能材料部門」の新設および石油化学事業競争力強化について
～基礎化学・石油化学部門の再編～

住友化学は、石油化学事業等における基礎原料からの一貫生産およびプロセス開発等の推進による基盤強化と、「環境・エネルギー関連事業」の早期戦列化ならびに収益最大化を図るため、2015 年 4 月 1 日付で、現行の基礎化学部門および石油化学部門を、「エネルギー・機能材料部門」および「石油化学部門」に再編いたします。

住友化学は、「環境・エネルギー」「ICT」「ライフサイエンス」の 3 分野を今後高い成長を期待できる事業領域と定め、これらスペシャリティケミカル領域の事業拡大を図る一方、バルクケミカル領域においては、構造改善による事業基盤の強化に取り組んでいます。

バルクケミカル領域の収益力向上には、原料コストの競争力獲得とプロセス開発の優位性が重要であり、当社は、今回の再編によって、日本、シンガポール、サウジアラビアで長年にわたって整えてきた体制をベースに、現行の基礎化学、石油化学の両部門の一体運営をさらに推進すべく組織を再編し、強固な収益基盤を確立していきます。

また、現行の基礎化学、石油化学の事業領域にある「環境・エネルギー等に寄与する材料を技術開発力で展開する機能製品」については、「必要とされる材料を提供する」という顧客密着型のマインドセットを従来以上に明確にし、「エネルギー・機能材料事業」と位置付けて、収益最大化を図っていきます。

なお、住友化学は、2015 年 4 月以降においても、新たな事業部門となる「エネルギー・機能材料部門」の一層の事業基盤強化と効率的、効果的な組織運営を目指し、その他の関連事業の当部門への統合などの検討を行っていく考えです。

以上